

# 番組審議委員会 議事録

(2023年9月)

開催月 2023年9月

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面審議にて実施

番組審議委員

委員総数 7名

出席委員6名

伊藤清明、尾上恵子、加藤昭宏、杉本尚美、谷口庄一、平林哲也 (敬称略)

## ①「カスタード坂ロプロデュース TAISHO&マナティの気分はBIG WAVE」

ご意見・ご感想

- ・軽妙な語り口で、聴きやすい声、テンポ、内容でスポンサー番組としてふさわしいと思いました。
- ・放送時間帯も適切かと思いました。
- ・明るい雰囲気が進んでく印象がありました。選曲も明るかったため、知らない曲でしたが、気軽に聴くことができました。複数でパーソナリティをされる場合、男性・女性の両性がいらっしゃると、声のバランスもよく聞きやすいと思いました。マナティさんの声が特に聴きやすいと思いました。今回は最後とのことで残念です。全般を通して、パーソナリティの方の人柄の良さを感じさせる番組でした。
- ・放送音楽のジャンル幅が大きくて驚いた。
- ・マナティさんの卒業ということで、通常のテイストではなかったかもしれないが、しっかり1時間楽しめました。
- ・1時間番組を飽きさせない内容でアクティブに会話されています、ブレイクタイムとしての音楽とのマッチングも良かったです。

特に、継続してリスナーを飽きさせないで進行を上手く引き締めているのがご意見番の存在があるからかもしれません。

番組内容については偏った言動も感じませんし、暴力的な言動もなかったと思います。

女性の方が辞められて今後がどのようになるのかが心配な面は残ります。

・今回の出演者のうち、TAISHOさんは語りの数が少なく、声量が小さいため、やや存在感が薄く感じました。

・カスタード坂口さんの語りは軽妙で、テンポが良く、聴きやすかったです。

・マナティさんは語りが明瞭で、声量やテンポも素晴らしく、非常に聴きやすく感じました。

・今回の番組はマナティさんの「卒業スペシャル」ということで、それに関する内容が中心に構成されていました。3か月間の出演だったそうですが、今後彼女の声が聴かれなくなるのは残念に思います。

・内容的には、「じっくり聞く」というより「聞き流す」程度で、「ネットサーフィンのようなトークバラエティ」のうたい文句通りでした。

・楽しそうな雰囲気伝わってきます。また、リスナーが全国に居てリクエストなどが届いているのが素晴らしいと思います。

一方で、ファンや常連リスナーの方相手なら問題ないと思いますが、初めて聞いた側からすれば、マナティさん含め出演者の背景が分からないので、「ももくろ云々などの内容が理解できなかった。

マナティさんが降板するという流れでしたが、出演者の人間関係が分からないので入り込めませんでした。

お絵描き勝負やじゃんけんはもう少し言葉に置き換えてくださると良かったと思います。

アカペラのアマポーラの際にBGMが重なっていたのが気になりました。

## ②「ラジ和尚 presents えしんりょうけんゆうの住職 de SHOW!!」

### ご意見・ご感想

・笑い声が気になるところが少なからずあり、少し気になりました。

・一人が話している最中にかぶせるようにもう一人が話している箇所が何か所かあり、私には聴きづらかったです。

・内容についてですが、気ままな語りの番組設定なので、それはそれでよいのかもしれませんが、話にテーマ性があると聴きやすいかなと思いました。

・話慣れていच्छる方ばかりで楽しそうな印象がまずありました。ただ、内容は内輪のものになると初めて聴いた人には、内容に着いていけないと感じた部分もありました。また、宗教的な話をざっくば

らんにされていて親しみやすいと思いましたが、(ラジオの難しさではあります)絵がないため、内容によっては想像が難しい部分もありました。歌も歌っていらっしゃるのでしょうか?とても上手でお坊さんのイメージが変わり、良かったです。宗教に関する部分は、信仰している人以外はあまり日常の会話で出てくることもないため、こういう番組はとても面白く、興味深いと思いました。

機材の関係かと思いますが、音が割れて少し聞き取りにくいところがありました。

- トーク中心の番組でしたが、切り回しが上手で楽しく聴くことができました。
- もう少しディープな内容も期待してしまいます。また聞きたいと思わせる番組でした。
- タイトルから聴く前は想像しておりました宗教色があるのかとおもっていましたが

話題は何気ないスピーカーの日常の話でした。

逆に説法を上手く解釈して話題にさせていただけると引きつける魅力になるのではないかと感じました。

なぜならこの頃はリスナーに近い距離で話すスタイルのラジオ番組が少なからず減っている気がします。

会社はリスクになるようなキャラクターの強いナビゲーターを避けている時代なのかもしれません。

今の時代の人気の番組になる秘訣を見つけ出すテスト的な番組があったらと思います。

- 長谷雄蓮華さんの話はよく分かるが、「えしん」「りょう」「けんゆう」の3名は、それぞれのパーソナル・キャラクターがつかめず、番組中、だれが話しているのが分からない状態でした。
- とりとめのない話が続き、30分間、聴き流していました。リスナーとつながる話(例えば、仏教の説話などが織り込まれる構成があるといいのでは?(他の回には、きっとそんな構成があるのかもしれませんが...))
- お寺との距離を縮めるという企画は良いと思いますが、少し一般リスナーに近寄りすぎるようで、イメージを悪くしているように受け取りました。

「頭おかしいよね」、「年寄りが云々」「けんか」といったような言葉の選択にもう少しセンスを感じさせてもらえると良い番組になると思います。

「ラジオ局・スタジオ」や「相方」といった周りのせいではなく、パーソナリティ自身の成長を期待したい  
と思います。

冒頭、音が割れているような気がしたのですが。